

日本映画放送株式会社 第48番組審議会議事録

1. 開催年月日 : 平成 27 年 11 月 17 日 (火) 16 時～17 時
2. 開催場所 : 東京都千代田区有楽町 1-1-3 東京宝塚ビル 15 階
日本映画放送株式会社 ボーディングルーム
3. 委員の出席: 委員総数 8 名 / 出席委員数 8 名
出席委員(順不同、敬称略): 菊地 実・鈴木 嘉一・川本 三郎・坂井 保之・
曾根 和子・田保橋 淳・鳥居 美砂・西 正
放送事業者側出席者: 代表取締役社長 杉田 成道
常務取締役 佐藤 信彦
編成制作局長 宮川 朋之
編成制作部長 澤 尚志
番審担当 堤 靖芳
清水 明 (記)
4. 議題 (1) 審議事項
時代劇専門チャンネル「果し合い」、「仲代達矢 ～82 歳、時代劇の現場～」
(2) 報告事項
日本映画専門チャンネル・時代劇専門チャンネル 2 チャンネル共同企画
「生誕 100 年 市川崑劇場」
日本映画専門チャンネル『ジョーのあした 一辰吉丈一郎との 20 年ー』
5. 議題 (1) 概要
時代劇専門チャンネルは、これまで主に池波正太郎原作ドラマをオリジナル時代劇として制作してきたが、2015 年度はもう一人の現代における時代劇小説の巨匠とも言うべき藤沢周平作品を、オリジナル時代劇として映像化する。しかも【藤沢周平 新ドラマシリーズ】と銘打ち、4 作品を連続制作し、放送することとした。今回その第一弾である仲代達矢主演「果し合い」と、その制作現場を取材したドキュメンタリー「仲代達矢 ～82 歳、時代劇の現場～」を観て、以下のポイントに留意しながら審議した。
■【藤沢周平新ドラマシリーズ】第 1 弾「果し合い」の率直なご感想をお聞かせください。
■「果し合い」は、今後 3 作続く【藤沢周平新ドラマシリーズ】への期待感を醸成できたか？
■ドキュメンタリーは、チャンネルでのドラマ放送を前に、作品の盛り上げに貢献しているか？

6. 議題（１）審議内容

- ・試写会のスクリーンで観たが、たつぷりと仲代達矢の演技を味わい、日本人の原点を見せてもらった気がする。鑑賞中も鑑賞後もずっと気持ちがよかった。
- ・藤沢周平作品を映像化するのは大賛成で、目玉シリーズになると思う。映画館で観るにふさわしい作品で、35mm フィルムで撮ってほしかった。ただ、仲代と若い俳優の存在感、演技力の違いは顕著。時代劇と現代劇の演出の違いについて聞きたい。
- ・今回のシリーズには初映像化作品が３つもあり、その第１弾として良かった。藤沢周平作品には未映像化作品が多く、これからも挑戦すべきだ。ドキュメンタリーは本編鑑賞後に見たが、仲代の実像を見て役者の鑑だと感じた。島田正吾は88歳まで現役だったが、仲代にも是非そこまで演じてほしい。
- ・独立したドキュメンタリー作品として価値があるとは思いますが、ドキュメンタリーを先に放送することは疑問だ。ネタバレがあり、後解説的に観たい気がした。
- ・私の知る限り老人を主人公にした時代劇はない。その上、実際に高齢の俳優が主人公を演じていることが非常に新鮮。仲代の殺陣は素晴らしく、侍の血がたぎった感じで良い。また、ラストは『真昼の決闘』のクレーンカットのような強い印象を残した。
- ・若者の間でも時代劇が人気になっているが、『るろうに剣心』などは時代劇といってもアクション映画的作品。それに対し、藤沢作品の面白さは心の機微や自己犠牲。そこが古いようで新しい。ただ、若い層や外国人に良さを理解してもらえるかは疑問。
- ・「果し合い」を観て、次の３作品を見たくなったので、トップランナーとしての役割は果たしたと思う。ドキュメンタリーで見た仲代は大変気さくで一段と好きになった。
- ・良い作品を観たと感じた。今回は男性の生き方がテーマだったが、今後女性が主人公の話もあるので期待している。これから藤沢小説を読みたいと思った。

<事業者回答>

- ・BS スカパー！を通じての加入は、過去最高を記録。ただ、シニア層にはBS やスカパー！の存在も加入方法もわかりにくく、東劇での１週間上映を企画した。テレビでも劇場でも観た人の反応は非常に良かった。
- ・基本的にホームドラマを主軸にして撮ろうと思った。そこから後半主人公が変化していく一、そんな姿を描こうと意図した。現代劇と時代劇の演出は基本的には違う。現代劇は人間のリアリティが重要だが、時代劇は虚構性が強く、劇的構造が組みやすい。藤沢周平作品をシリーズドラマ化する企画がまず立ち上がり、その段階でキャスティングは白紙だったが、仲代達矢主演を希望する声があり、短編の中から３つ選んでもらった。弊社のオリジナルドラマに仲代達矢を起用できたことは、非常に感慨深い。

7. 議題（2）報告事項

【日本映画専門チャンネル・時代劇専門チャンネル 2 チャンネル共同企画】

「生誕 100 年 市川崑劇場」

市川崑生誕 100 年の 2015 年 11 月から約 4 年間で、100 本以上のフィルモグラフィの中から、放映可能な作品全てを日本映画専門チャンネル・時代劇専門チャンネルで放送する。チャンネル以外でも市川監督をめぐる様々なプロジェクトが現在進行中で、そのひとつが 1970 年に大阪万博で上映されて以来お蔵入りとなっていた「日本と日本人」という幻の短編の復活。上映イベントの他、日本映画専門チャンネルで TV 初放送予定である。

【日本映画専門チャンネル】

映画『ジョーのあした ―辰吉丈一郎との 20 年―』

日本映画専門チャンネルが出資したオリジナルのドキュメンタリー映画で、2016 年 2 月 20 日公開予定で準備中。阪本順治監督がボクサーの辰吉丈一郎を 20 年以上撮影してきたのが本作。東京国際映画祭でワールドプレミア上映した。

8. 連絡事項：次回番組審議委員会は、平成 28 年 1 月 19 日(火)15 時より開催。